

# おおだての元気ツール

おおだて《子ども・地域》元気づくり交流プロジェクト

互いに学び合い

手をつなぎ



子どもたちの

元気を核にして

地域の



元気づくりを

目指しませんか!

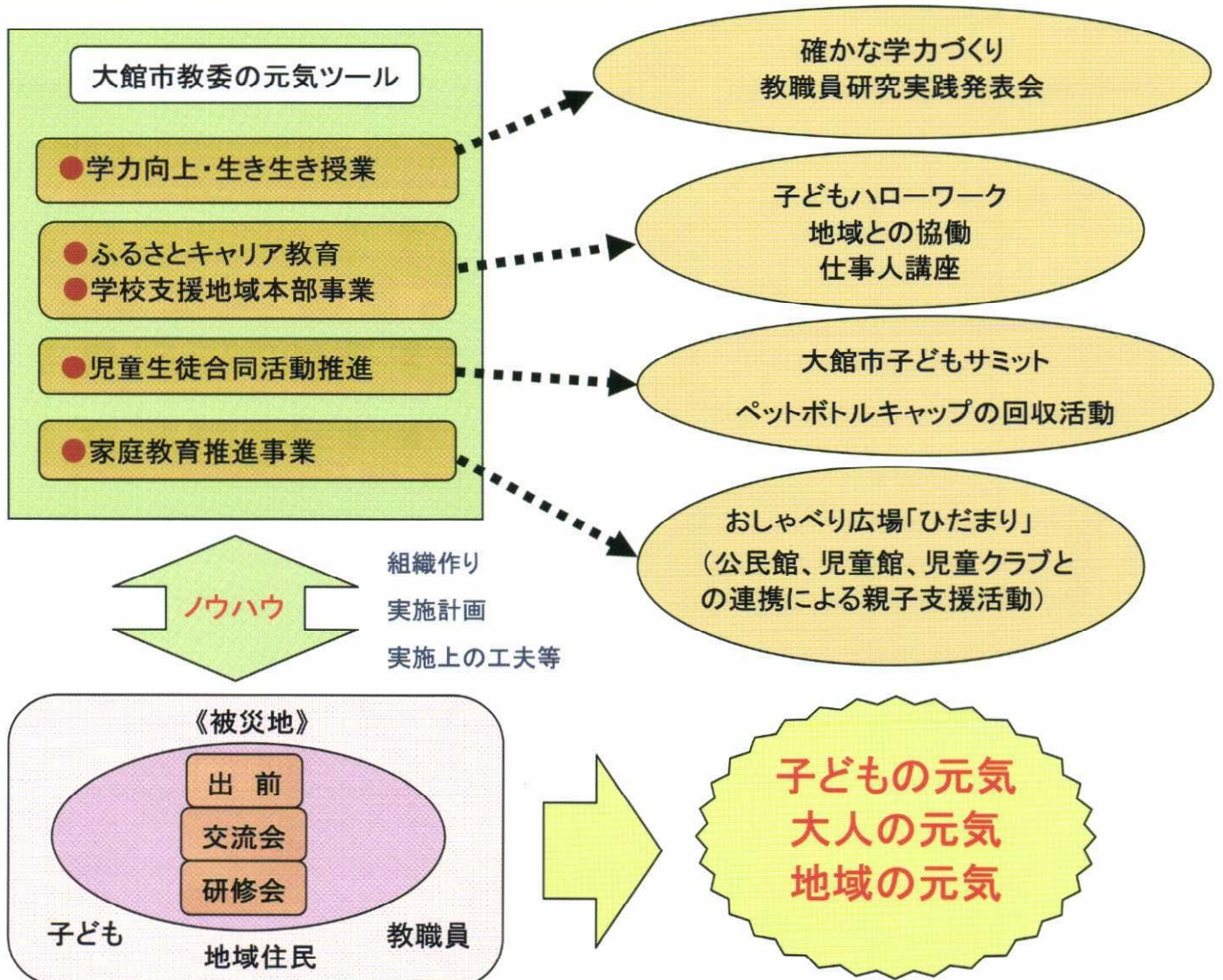
平成25年4月発行  
大館市教育委員会

子どもの元気が大人の元気や地域の元気をつくり、大人や地域の元気が子どもの元気をつくります。

大館市では、子どもの元気づくりを核にして大人や地域の元気づくりも一体的に進めようと学校教育や家庭教育分野で様々なことに取り組んできました。本カードではこれらを「元気ツール」と呼んでいます。これは、平成24年度に国の「学びを通じた被災地の地域コミュニティ再生支援事業」に応募する過程で、私たちの実践を被災地の方々へわかりやすく提示するため使用したネーミングです。

学校教育分野では釜石市と、家庭教育分野では気仙沼市と「おおだての元気ツール」を基に交流し、子どもたちの元気づくりを通して地域コミュニティの再生に取り組んでいるみなさんを支援してきました。ふるさとキャリア教育を中核に据え、ふるさとに根ざし、自立の気概を培おうとする教育が本質的で普遍的なものであることを改めて実感したところです。

大館市教育委員会 教育長 高橋善之



# 確かな学力づくり

小学校18校、中学校10校では、「教職員の力を1割アップしよう」を合い言葉に、確かな学力と確かな授業力の向上を目指しています。



学習する基盤としての基本的な生活習慣の形成、学ぶ意欲を高め、基礎・基本が定着する授業改善に向けて、各校で様々な研究実践が行われています。

各校・各組織ごとに、学力向上のための取組の計画を立て、実践し、年度末には評価をするというP D C Aサイクルが確立しています。

また、N R T 標準学力検査、全国学力・学習状況調査、秋田県学習状況調査の諸検査の分析や明確になった課題を具体的改善策に結び付けるようにしています。

「早寝、早起き、朝ごはん」、家庭学習、お手伝い等、就学前から中学校まで発達段階に応じて育てたい生活習慣・学習習慣を「自立プラン」として地域と連携して進めている中学校区もあります。

教師一人一人の授業力を高めるために、積極的に指導主事訪問を活用しています。研究授業を他校でも互いに見合うことができるシステムがあり、幼稚園や保育園、高等学校の教職員も互いに保育や授業を参観し合います。

- 1 年間に予定されている研究授業の一覧があります。参加したい授業に申し込み、授業参観や研究協議にも参加することができます。各学校または、教育研究所にお問い合わせください。
- 2 「学力向上」に関する資料は、大館市教育委員会HPでもご覧いただけます。

## 授業改善、実践交流のようす

### 授業交流

先生たちは、授業力を高めるために、互いに授業を見合う機会を設けています。大館市教育研究会では、全教科・領域の部会がそれぞれに授業を公開します。それらの交流授業の一覧表をもとに、自分の研究したい教科、領域を選んで、気軽に市内の小・中学校どこにでも、授業参観や研究協議への参加が可能になっています。



### ねらいとゴールが一致した授業

授業のねらいが明確な授業を目指しています。1時間の学習の流れが見える板書構成、身に付いた基礎・基本の力を活用する場面やまとめや振り返りの時間を設けるなど、先生たちは日々の1時間1時間の授業を大切に積み重ねています。



### 9年間を見通した共通実践事項

中学校区ごとに、小・中連携研究会が行われ、共通のテーマのもと協議や合同研修会、授業参観が行われています。それぞれの専門性を生かしながらも同じ学区の子どもたちの発達をつなぐために学習習慣や生徒指導など同じ方向性をもって実践しています。



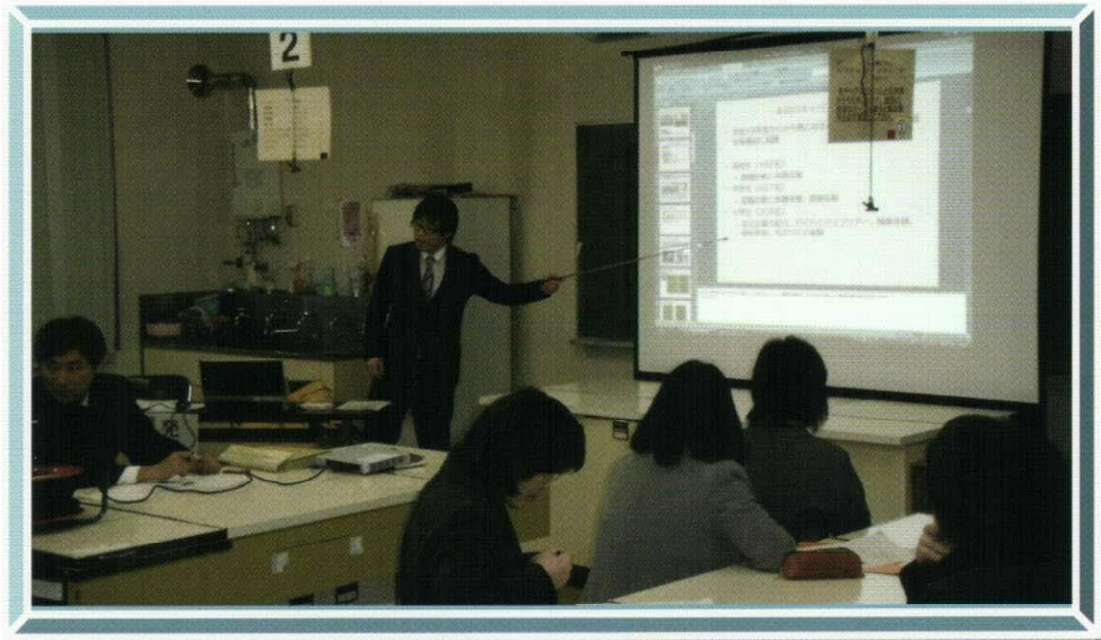
### 学校間の連携

小学生と中学生の合同の授業、小学校の先生と中学校の先生による合同の指導などにより、連携によって互いに刺激をもらい、学ぶ意欲や指導力を高めています。また、幼稚園や保育園、高等学校や大学との授業での交流も広がり始めています。



# 教職員研究実践発表会

大館市の教職員が主体的に運営する手作り感いっぱいの実践発表会です。授業改善や指導工夫のヒントをそれぞれが持ち帰ることで、授業等を通して子どもたちがより元気になることを目指しています。



発表者は、自分から手を挙げて応募するシステムです。

平成24年度は34人の先生が自主的に応募し、26の発表が行われました。



どれも明日から使える具体的な内容です。

研究成果の発表会ではありません。その年に、その先生又は学校が取り組んだ身近な実践内容ばかりです。



小・中だけでなく、幼稚園、保育園、高校、大学他からの発表もあります。

校種を超えた取組を目指しています。



発表後の意見交流も盛り上がります。

発表を聞くだけの会ではありません。発表後に設けられた質問や意見交流を行う時間の盛り上がりも楽しく有意義で、大変好評です。

- 1 実践発表会は、例年冬季休業中（1月初旬）に午後日程で開催。
- 2 10会場程に分かれて2コマ行われる発表から、好きな内容を自由に組み合わせて参観可。
- 3 発表会後半には、教育への見聞をみんなで深めるための講演も実施。
- 4 夜には懇親会も開催。毎年 200 人程の教職員が参加し、ワイワイとした雰囲気の中で更なる情報交換を行っています。懇親会への参加もちろん可。
- 5 実践発表会への参加だけでなく、運営のシステムについての紹介も承ります。（随時）

## 教職員研究実践発表会のようす

〔大館市中央公民館 H25.1.10〕

- ①発表会場は 20～30 人規模なので、どこも和やかで、気軽に意見を交し合います。



- ②発表内容は実に多種多様です。  
聞きたい発表を選べるので、どれを聞きに行こうか悩んでしまいます。

- 確かな読みの力を身に付ける指導の工夫を通して  
(小学校 N先生)
- だれでもできる体育指導  
～表現運動7つのポイント～  
(小学校 F先生)
- 学校・家庭・地域が一体となって行うふるさと・キャリア教育  
(小学校 O先生)
- 防災リーダーを目指して  
～雨にも負けず雪にも負けず～  
(中学校 N先生)
- 命と優しさを育てる保育  
～幼稚園における特別支援教育を通して～  
(幼稚園 M先生)
- 主体性を育む家庭科指導の工夫  
～保育体験学習を通して～  
(高校 S先生)
- 子どもの好奇心をくすぐるロボット教育  
(短期大学 T先生)

- ③発表後には釜石市教育長 川崎一弘氏による講演を全員で聴きました。命をテーマに教育の本質に迫っていく内容に感動し、だれもが教育に携わる者としての使命を新たにしていました。



- ④準備、当日の運営は各校の先生方で行っています。校長、教諭等の役職は関係なく、みんなが同じ立場で参加します。指導助言等ありません。みんなで手作りの発表会を目指しており、それが自主的な発表者が多い理由の一つとなっています。



他にも、実践発表会を先生方にとって身近で、ためになるものにするための手立てを試行錯誤しながら、様々取り入れています。

# 子どもハローワーク

「職場体験の場を子どもたちに広く提供し、将来の夢づくりを応援したい。」  
小・中学校の教育課程外の活動を支えるため、地域と学校を橋渡しする子どもハローワークを立ち上げました。



**年間のべ1000人以上の子どもが、子どもハローワークを利用して、職場体験を行っています。**

学校が休みの日に、多くの子どもが地域の企業や行事で、子どもハローワークの職場体験に取り組んでいます。ふるさとキャリア教育の充実を図ると同時に、地域の活性化にもつながることが期待されます。



**学校で行われている職場体験等の成果を高める役割を担います。**

各校でも職場体験等が行われていますが、どうしても日数や時間帯に制限があります。子どもハローワークでは土日や長期休業を利用し、様々な職場体験の場を提供することで、子どもたちのキャリア発達を支援しています。



**子どもの求人は、企業等から市教委を通し学校へ届くシステムです。**

求人の流れをスムーズにする等、できるだけ運営に係る負担を少なくするよう工夫しています。

求人情報や職場体験の実施予定等は、大館市教育委員会内 教育研究所（TEL 0186-43-7114）  
にお問い合わせいただくか、子どもハローワークHP をご覧下さい。

## 子どもハローワークのようす

### 城南保育園での保育体験

保育士の仕事に興味をもち、夏休み中の保育園の求人に応募した中学生たち。園児と触れ合う楽しさと忙しさを体験しました。保育士さんの指導力や、責任の重さなどを実感し、びっくりの連続でした。



### 本場大館さきたんぼまつり 接客体験

県内外から8万人以上が訪れたさきたんぼまつり。たくさんの小・中学生がおもてなしの心で接客に取り組みました。子どもたちの頑張りに、「大館って素晴らしいところだな～」という声がたくさん聞かれました。



### 郵便局での窓口体験

郵便局の窓口係を体験した小学生。いつも身近な郵便局には、切手の販売、荷物の送付など色々な仕事があることを学びました。お客さんとのやり取りに緊張しながらも、しっかり仕事を手伝いました。



### 本場大館さきたんぼまつり 鳥潟会館での名所案内人体験

学区にある名所を訪れる方々に、土地に携わる歴史などを説明するガイドとなった中学生は、どんどん上達し、自信を高めていきました。知らない人との出会いや、そこでの責任はとても貴重な体験です。



「働くっておもしろい！」  
「人の役に立つって楽しい！」

そんな声がたくさん  
聞かれるように  
なっています。



# 地域との協働

地域の方々と関わりながら、子どもたちがふるさとへの愛情を深め、ふるさとにたくましく生きる力を高めるための取組を、学校支援地域本部事業を活用し、全ての学校で行っています。

子どもたちが進んで地域と関わっていくことで、学校が地域活性化の源になることを願っています。



**ふるさとキャリア教育の推進を、大館市学校教育の最重点施策としています。**

全ての小・中学校で、学校や地域の特性を生かしたふるさとキャリア教育が実践されています。各校にいる地域コーディネーターが、学校と地域を結びながらそれぞれ特色ある取組が行われています。



**自分たちから発信する力が高まっています。**

地域の方々との関わりの中で見つけた「ふるさとのよさ」をもとに、自分たちでコマースビデオを制作し、市内の催し物に出かけて行って宣伝活動を行う等、子どもたち自身が発信する取組が各校で行われています。



**学校が「地域の元気発信基地」になりたいと考えています。**

「地域の方々からしてもらおう」だけでなく、子どもたちの主体的な活動で「学校が地域の元気づくり」に貢献していくことを目指しています。

- 1 各小・中学校の多様な実践から関心のある取組を参観したり、説明を聞いたりできます。
- 2 実際に子どもたちと一緒に体験活動を経験することも可能です。(時期によります)
- 3 地域の方々から子どもたちとの活動等について話を聞くことも可能です。(時期によります)

## 地域との協働のようす

### 釈迦内小学校 ひまわりプロジェクト

- ①学校と地域が共同で「ひまわりプロジェクト」を立ち上げ、地域全体で、ひまわりの栽培に取り組んでいます。



- ②「へえ～、なるほどこうやればいいのか？」地域の大人と関わる中で、先人の知恵を学び、受け継いでいきます。



- ③収穫したひまわりの種から油を絞り、ひまわり油を販売しています。ばく大な量だけに、種を取り出すのも大変な作業です。必然的に地域の方々との協力関係が強まります。学校が軸となり、地域の縦のつながりが深まっていきます。



### 早口小学校 東日本大震災復興支援農園

- ①子どもたちが中心となり、売り上げを気仙沼市の小学校に寄付し、復興に役立ててもらおうと、地域の方々と一緒にじゃがいも、さつまいもを栽培、販売しています。



- ②「協力してみんなで働くのが当たり前！」だれかの役に立ちたいと働く中で、子どもたちの意識はどんどん変わっていきます。



- ③子どもたちは学習発表会、地域の行事、地域の公共施設など、いろいろな場に進んで出て行きます。子どもたちのアイデアいっぱいの販売に、買う方も、売る方もみんなが笑顔で元気になります。



# 仕事人講座

「子どもたちに、自分の将来を見つめ、夢を抱き、元気に努力していくきっかけを与えたい。」

地域の大人の方々に「自分の仕事に誇りをもち、その思いを次世代に伝えていく」場を設けたい。

そんな思いをもとに、仕事人講座が市内小・中学校で行われています。



**ふるさとキャリア教育推進の大きな力となっています。**

「地域の未来」「子どもたちの未来」のために、大館市が学校教育の根幹に位置付けている「ふるさとキャリア教育」・・・仕事人講座は、多くの学校においてふるさとキャリア教育推進の原動力となっています。



**教科の時数を用いなくて実施する等、各校で様々な工夫をしています。**

「教科時数を確保する」「生徒の自主性を尊重する」等、各校がそれぞれの実態を踏まえながら、様々な工夫をして運営しています。



**小・中学校で連携をしながら進めています。**

近隣の小学校から児童が「〇〇の講座を聴いてみたい」と中学校の講座に参加することもあります。小・中が連携しながら仕事人講座を進めていくことで、子どもの未来が確かにつながっていきます。

- 1 仕事人講座は市内各校において、年間を通し様々な形で実施（時期は不定期）。ほとんどの講座が参観可。
- 2 運営システムについては、各校がそれぞれ独自の方法を開発しています。

## 仕事人講座のようす

### 第一中学校 鳳雛講座(ほうすうこうざ)

- ①地域で活躍する方々が講師となり、仕事の様子や苦勞、やりがい等について、子どもたちに分かりやすく伝えます。



- ②様々な職種の方々が講師となっており、子どもたちは実に多種多様な仕事に触れる機会を得ます。

- ・薬品開発製造担当者
- ・消防士 ・歯科医師
- ・ウェディングプランナー
- ・営農指導員 ・保険外交員
- ・ソムリエ ・ITコンサルタント
- ・市行政職員 ・銀行員
- ・水族館飼育スタッフ など

- ③授業ではありません。興味ある講座を選択し、自分自身の意思で参加するので、子どもたちの態度はいつも真剣で、しかも楽しそうです。



- ④学校支援地域本部事業を活用して、地域コーディネーターを講師とのパイプ役にするなど、教職員に大きな負担をかけずに運営する工夫を色々しています。

### 東館小学校 みんなの未来科

- ①総合的な学習の時間を軸としながら、「みんなの未来科」とネーミングした学習の中で、地域内外から多様な職種の方を招いた講座を開催しています。

- ・田部井淳子さん (エベレスト登頂登山家)
- ・長崎宏子さん (元水泳オリンピック選手)
- ・豪風さん (力士)
- ・バリトン伊藤さん (タレント)
- ・保坂豊さん (公務員、役者) など

- ②講師と校長による対談の後、子どもたちからの質問タイムとなります。講師の話から学ぶにとどまらず、コミュニケーション能力を育てるための工夫です。



- ③講座後には、子どもたちに直接指導していただくこともしばしばあります。長崎宏さんはプールに出て、子どもたちに泳ぎ方をアドバイスしてくださいました。



# 大館市子どもサミット

小・中学生が「私たちのふるさと大館をよりよいまちに」という思いをもち、「自分たち子どもにできること」を進んで考え、市内全ての小・中学校で実践しています。

その核となっているのが「大館市子どもサミット」です。



市内全ての小学生・中学生たちが、共通の意識をもって、よりよいふるさとづくりを目指し、実践していきます。

市内全校で共通の目標をもつことで、子どもたちのパワーが結集され、焦点化された取組となります。市民に対してもアピールできる場も多くなり、子どもたちの活躍の機会も増えます。その結果、子どもたちの活動が広く認められ、子どもたちはふるさとを担う地域の一員としての自覚を深めていきます。



子どもたちの前向きな取組は、地域に元気をもたらします。

子どもたちは自分たちの思いを「市民への提言」として広く訴えます。子どもたちの団結は地域を支える大きな力となり、前向きな実践は大人たちに元気と勇気を与えます。



子どもたちの積極性、自主性、リーダー性の向上が図られていきます。

各校代表が集まり、意見を出し合うサミットは、自校では経験できない貴重な場となっています。そこで培った力は、自校に戻った代表の子どもたちから広まっていきます。

- 1 子どもサミットは年2回（夏、冬季休業中）開催されます。グループ協議、全体協議、市民代表からの激励の言葉などが行われています。
- 2 子どもサミットの運営は、子どもサミット運営委員会が担当しています。

## 子どもサミットのように

9～11月 各校での実践  
◇サミットの話し合いでの決定をもとに、各校の取組を見直し、実践します。

随時、サミット通信を発行し、各校の取組状況を理解し合い、自校の実践の参考にしています。

12月 冬の子どもサミット

◇サミット委員（全小・中学校からの代表2名 計56名）が集い、これまでの実践を振り返り、次年度の目標と実践を決定します。

1～3月 各校での検討

◇サミットでの決定事項をもとに、各校で子どもたちが自校で取り組む具体的内容を話し合います。

4～7月 各校での実践

◇各校で決めた事項を実践します。

8月 夏の子どもサミット

◇サミット委員が集い、各校の実践を紹介し合います。目標や計画の修正点などについても話し合います。

## （子どもたちによるまちづくり実践）

### ☆あいさつ運動☆

「大館をあいさつがあふれるまちにしたい」



子どもたちが、地域の方々に元気なあいさつのある暮らしを呼びかけます。小学生と中学生が一緒にあいさつ運動を行うなど、様々な工夫をしながら進めています。

### ☆地域クリーンアップ☆

「大館をきれいで気持ちいいまちにしたい」



町内の掲示板をぴかぴかにしようと掃除に励む中学生たち。事前に町内会長さんを訪ね、地区の課題などを聞きながら、何をすべきか自分たちで考え、取り組んでいます。

# ペットボトルキャップ回収活動

「子どもサミットと大館市が効果的に連動しながら行われているペットボトルキャップ回収活動。」

子どもたちのまちづくりへの思いが大きなパワーとなり、いまや市民全体の活動になりつつあります。



**市の施策と子どもたちの思いがぴったりと重なったまちづくり運動です。**

大館市は先進のリサイクル技術をもつ環境都市です。その特長を生かした市施策と、子どもサミットの子どもたちの思いが重なったのが「ペットボトルキャップ回収活動」です。協力し合うことで、互いにメリットがあり、充実した活動が展開されています。



**子どもたちの努力が、目に見える形となって還元されるシステムです。**

子どもたちが回収したボトルキャップは再生され、建材として生まれ変わります。環境に優しい建材がベンチとなって広く市民の方々に使ってもらったり、国内を代表する建物に利用されたりすることで、子どもたちは活動に自信や誇りを感じることができます。



**子どもも大人も、だれもが気軽に取り組みます。**

業者への運搬などは市がやるので、子どもたちは回収活動に集中できます。子どもたちの積極的な呼びかけにより、地域の方々も気軽に学校にキャップを持ってきてくれるようになってきました。

- 1 ペットボトルキャップ回収活動は、全小・中学校で年間継続して実施。
- 2 報奨品の活用について話し合う子どもサミットは、冬季休業中の12月に実施。(参観可)
- 3 これまでの報奨品は市内各所に設置しており、見学希望の際は案内いたします。(随時)
- 4 市の環境推進施策の立場からの説明も可能です。

## ペットボトルキャップ回収活動のようす

- ①市環境課が各校に回収用袋を提供しています。子どもたちは自分で集めたボトルキャップを持ってきたり、地域の方々に呼びかけたりして、回収活動に取り組みます。



- ②子どもたち自身で回収ボックスを作り、学区内の様々な施設に協力をお願いする等、様々な工夫が見られます。「いつもキャップ回収に協力してくださり、ありがとうございます。私たちの手作り感謝状を受け取ってください。」



- ③月に1度、市環境課が各校をまわり、ボトルキャップを回収し、業者に運搬します。また、福祉施設の方々がキャップ選別を行うなど、様々な人たちが有機的に関わりながら回収活動は進められています。



- ④冬の子どもサミットで、「今年度の報奨品を何にしてもらうか。どのように活用するか。」を子どもたちが話し合います。



- ⑤3月に子どもたちは報奨品をいただき、子どもサミットの話し合いで決めた相手先に寄贈し、広く活用してもらいます。

平成22年度

商店街のイベントに集まる人が座れるように移動式ベンチ5台を寄贈しました。

平成23年度

お年寄りの方々もバスを楽に待てるよう、ベンチ4台をバス停に設置しました。

- ⑥平成24年度は「被災地支援に役立てたい」という考えがまとまり、釜石市の中学生たちにプリンター30台を贈ることとなりました。子どもサミット委員たち15名が平成25年3月22日に釜石市を訪れ、現地の中学生たちと交流し、寄贈してきました。





# おしゃべり広場「ひだまり」

子どもたちの活動タイム、親のほっとタイム、親子一緒に活動タイムの三つを組み合わせると子どもも大人も元気が出る楽しいひとときを提供します。



スタッフは子育てサポーターを中心に、高校生ボランティア等で構成されています。



会場は公民館、児童館、幼稚園、保育園等です。



必要な準備やスタッフはすべて出前します。

## おしゃべりひろば「ひだまり」《メニュー一覧》

親子の活動
作ってあそぼ! 楽しいおもちゃ
☆スライムであそぼう!
☆絵本の読み聞かせ
☆バルーンアートを楽しもう
がらくた音楽会 (廃品で楽器作り)
☆大型バルーンであそぼう!
秋のリース作り
電飾リースやクリスマスツリー作り
親子クッキング
アルミアート
音楽で遊ぼう

親のほっとタイム
★アロマハンドトリートメント
★おいしい紅茶・コーヒー
★リフレッシュ体操
だまこ作り
メッセージ入りキーホルダー制作
スイーツマグネット制作
★お抹茶で一息
指編みマフラー
おいしいコーヒーの淹れ方



- 1 「親子の活動」と「親のほっとタイム」で正味 90 分程度。
- 2 「親子の活動」がメイン。時間は 60 分前後。
  - ・ ☆印のついたものどうしは二つまでなら組み合わせ可。
- 3 「親のほっとタイム」は 20~30 分程度。
  - ・ ★印のついたものどうしは二つまでなら組み合わせ可。
  - ・ 子どもたちはひだまりスタッフと楽しく遊んで過ごします。もちろん、親と一緒にでもOK。

## おしゃべり広場「ひだまり」の出前のようす

### 気仙沼市立本吉公民館での活動のようす

- ①子どもたちは高校生ボランティアと大型バルーン遊び。大歓声です。



- ②大人はおしゃべりしながらスイーツマグネットの土台作り。仕上げは親子の共同作業で。



- ③最後は親子そろって絵本の世界へ。絶妙の語りと音楽ですっかり夢中に。



### 気仙沼市立大谷公民館での活動のようす

- ①高校生ボランティアと一緒に電飾クリスマスツリー作りに夢中。



- ②大人は別室でアロマハンドトリートメントでリラックスタイム。ひだまりスタッフとの会話ははずみます。



- ③最後はみんなそろってお話の世界へ。高校生のお膝で気持ちよさそうな子も。

